

～新型コロナウイルス対策について～

盛夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。連日新型コロナウイルスの報道等で不安な毎日をお過ごしのことと思います。

当施設では現在も密をできるだけ避け、主に以下の内容を中心に感染予防に努めております。

まず“施設の出入り制限”を実施しています。通所ご利用者様には利用日ご自宅で検温をして頂き、発熱がある場合は利用中止とさせて頂いております。物品納入業者や職員は入館時の検温を義務付け、発熱や体調が悪い際は入館しないよう制限致しました。また、ご利用者様とご家族の直接の面会を制限する代わりとして、施設タブレットを使用した「テレビ電話でのご面会」を行っております。

二つ目に職員は“マスク着用”を義務付けています。当施設でもマスク不足が発生し、職員の手作りマスクを全員に配布して、活用しています。通所ご利用者様にも着用のご協力を頂いております。

三つ目は“手洗い・消毒・うがい”です。職員はケア前後の手洗い・手指消毒の施行、ご利用者様にも食前に手指消毒に協力を頂いております。また、この他全館・使用物品等も消毒を徹底しています。

この他に、時間を決め全館換気にも努めております。

今後も油断することなくご利用者様、ご家族の皆様にもご協力頂き、職員一丸となり感染防止を継続して参ります。

※納涼祭について

大変残念ではありますが、今年は感染防止の為規模を縮小してご利用者様、職員のみで開催させて頂きます。ご利用者様の安全確保の為、ご理解の程よろしくお願い致します。



メモリアルタイムス

第80号

老人保健施設
ケアセンター弘前



弘前市山崎
一丁目三の七
八七〇一
八七〇一
八七〇一
八七〇一

食中毒にご注意を!!

食中毒がおこりやすいのはこれからの季節です。夏場は菌が繁殖しやすいだけでなく、身体の抵抗力、免疫力も落ち気味。食中毒を防ぐ為の3つの原則を改めておさらいしておきましょう。

食中毒の3原則

- ① につけない (清潔、洗浄、手洗い)
- ② 増やさない (低温管理)
- ③ やっつける (消毒、加熱)

① につけない



食中毒を起こさない為には、食中毒の原因となる細菌やウイルス、有害物質などを食品や調理器具につけないことが大切です。

まず、手や調理器具を清潔に保つこと。生肉に使う調理器具とその他に使う調理器具を分けると安心です。

② 増やさない

この時期は、屋内でも高温多湿になりがちです。食品は室温で置いておかず、冷蔵庫で管理するのがポイントです。

③ やっつける



梅雨時には生ものをできるだけ控え、加熱したものを食べるようにしましょう。

また調理器具も熱湯消毒してから使用して下さい。なお冷凍冷蔵による殺菌効果は期待できません。保存した食品は早めに再加熱して食べるようにしましょう。



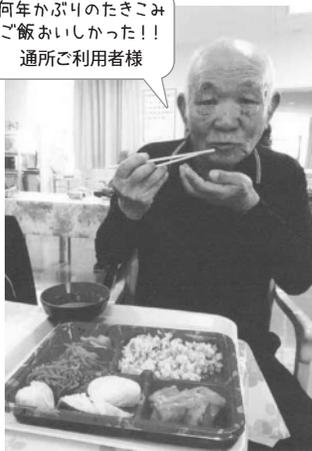
編集後記

早いものでもう7月になります。1年の半分は過ぎましたね。これから暑い時期となりますが、バランスの良い食事と体を動かすことを取り入れて、季節の変化に対応したいですね。「メモリアルタイムス」を最後までお読み頂きありがとうございました。

ホームページでもご利用者様の日々の様子などをご覧いただけます。
<http://tsugarufujimikai.com>



何年かぶりのたきこみ
ご飯おいしかった!!
通所ご利用者様



みんなおいしかった。
全部食べちゃった!!
通所ご利用者様

観桜会

4月22日(水)。お花見弁当、
おやつは桜花まんじゅうでした。

※メニュー
(炊き込みご飯、揚げ豆腐、
銀だら、ウドの酢みそあえ等)

コロナの影響で外出、お花
見に行けない状況でしたが、
この日はご利用者様の周り
何ヶ所かに切り枝の満開の桜
を飾り、観桜会気分を味わい
ながらお花見弁当を召し上
がって頂きました。

外出が制限されてる中での
今回のお弁当は特別な味に
なったかと思えます。



無言で全部食べました。
「おいしかった」と最後に一言。
入所者様



「今日美味しい物食べれるから、
リハビリ頑張った!!
桜見ながら食べて美味しい」と笑顔
入所者様



おいしいもの食べて幸せだ!!
入所者様

委員会活動の紹介

当施設では多数の委員会を設け、より良い施設づくりを目指して活動しています。
今回は「ノーリフティングケア委員会」と「サービス向上委員会」の2つの
活動を紹介します。

～ノーリフティングケア委員会～

今年度、青森県が推進する「あおりノーリフティングケア推進事業」に当施設が選定さ
れたことに伴い、委員会として立ち上げました。

ノーリフティングケアとは介護する側、される側双方において安全で安心な「持ち上げな
い・抱え上げない・引きずらない」ケアを意味します。単に福祉機器や用具を使用すること
ではなく、中腰や不良姿勢など身体の間違った使い方を無くし、対象者の状態に合わせて福
祉機器や用具を有効に活用していく取り組みです。

ご利用者様へのケアの質向上、職員の腰痛予防・体を壊すことによる離職防止も含め委員
会を中心に勉強しながら活動をしていきます。メンバーは看護師、介護福祉士、ケアマ
ネージャー、作業療法士など、多職種で構成されています。

～サービス向上委員会～

この委員会は毎月ご利用者様、ご家族様からの「要望・苦情」などの共有・検討を行い、
より良いサービスを提供する為に活動をしています。

最近の活動としては、コロナウイルス感染防止に伴い長期化する面会制限でお互いの顔が
見えない不安、「一目顔が見られないか」とのご家族の声を受け、4月上旬にご利用者様の
近況と写真をご家族に郵送致しました。また、5月上旬からは施設のタブレットを使用した
「テレビ電話でのご面会」を開始させて頂きました。

これらの活動はどれも大変好評でした。

また、年度初めには、職員全体の質の向上を目指す為、下記の通り目標を掲げました。こ
の目標を各部署に掲示し、目標達成に向け意識して業務にあたっております。

